その日から僕は、
クラスの地味目な
淫魔にひたすら精液を
搾り取られる。
本文30P

その日から僕は、
クラスの地味目な
淫魔にひたすら精液を
搾り取られる。
R18
ADULT ONLY

中田ー、ちょっといいか
は、はい

え？お、俺が…ですか？

あぁここ最近岬葉、ずっとボーっとしてるんだよ
なにか悩み事があるのか先生から聞いてみたんだが全然答えないし…
中田は人想いで男女共に気を使えるから、彼女と打ち解けて悩みとか聞いて欲しいんだ。

わ、わかりました…できるだけやってみますケド…
岬葉さん…

彼女がボーっとしてるのは
今に始まった事じゃない。
このクラスで一緒になってから
常にそんな感じだった。

正直、そんなよく分からない
子と話して心を打ち解ける
なんて……

俺に出来るのか…？
いやでも、先生から
頼まれてしまったし…っ

眠そうというか、
心ここにあらずというか…。
思えば岬葉さんはいつも一人で
他の人と話してるのを見たことが無い

岬葉さん
あはは、ごめんね急にっ岬葉さんっていつも本読んでるじゃん…？
何かおススメの本とか無いかなぁ～…
なんて…
い、いやぁっ急にこんな事言われてもだよねっ
め、めっちゃ見られてるなんだこの時間はっ

な、中田君…
…だよね？

えっ
う、うん

本、好きなんだね
よければ家で一緒に
おもしろい本探す…？

え

な、なんだこの
距離の詰め方は…

初めて喋った男子に
家で一緒に本を探す…だと？

岬葉さんって
そういうキャラなのか…？

あ、あぁうん
せっかくだし
岬葉さんがいいなら

俺から振った話だし、
なんとなく断れずに
行く事になった…。

でもこれで
少しでも仲良く
なれるなら…

へ、へぇ～ココが岬葉さんの部屋かぁ…
チッ
チッ
チッ
チッ
…
…
…
キョロ
キョロ
綺麗に片付いてるね本も沢山ある…
…
コクッ。
いやいや分からんっ何なんだこの状況！初めて喋る女子の部屋で何話したらいいんだよっ
岬葉さん、部屋に入った途端に口数減るしっ
な、中田君は…っど、どういう本が
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
好きなのっ…

岬葉さん…？
大丈夫…？
息が荒く…って
え…？

ピョコッ
それ…
…

あの…

私実は…

ドクンッ

ドクッ

男の人の精液を
定期的に摂取しないと
ダメな身体みたいで…

あせっ

その…何て言うのかな
サキュバス…？
なんだよね、私

あせっ

学校では絶対にバレないようにって
頑張って読書で誤魔化してたけど
もう1ヶ月くらい我慢してて…

毎日精液のコトで
頭いっぱいでボーッとしてて

男の人と部屋で二人きりって
考えただけで身体が熱くなって
疼いちゃう…ごめんなさい
気持ち悪いよね、私…。

晴天の霹靂

駄目だ、頭の処理が追いつかない

…が、

一つだけ分かるのは
岬葉さんは苦しんでいるんだ
こうしてる今も……

…だったら、
俺の出来る事は
ただ一つだけだろ

岬葉さん

俺の精液でいいなら思う存分吸い取ってよ

え…？

いやー俺一人でもそんなにしないから溜まってると思うし

あはは。

……

い、いいの？本当に…

う、うん むしろ有り余ってるから 岬葉さんの好きにしてよ

トクン

トクン

トクン

ちょっまっ
ガバッ
あっ
ちょっ…
岬葉さんっ…
はぁっ
はぁっ
はぁっ
はぁっ

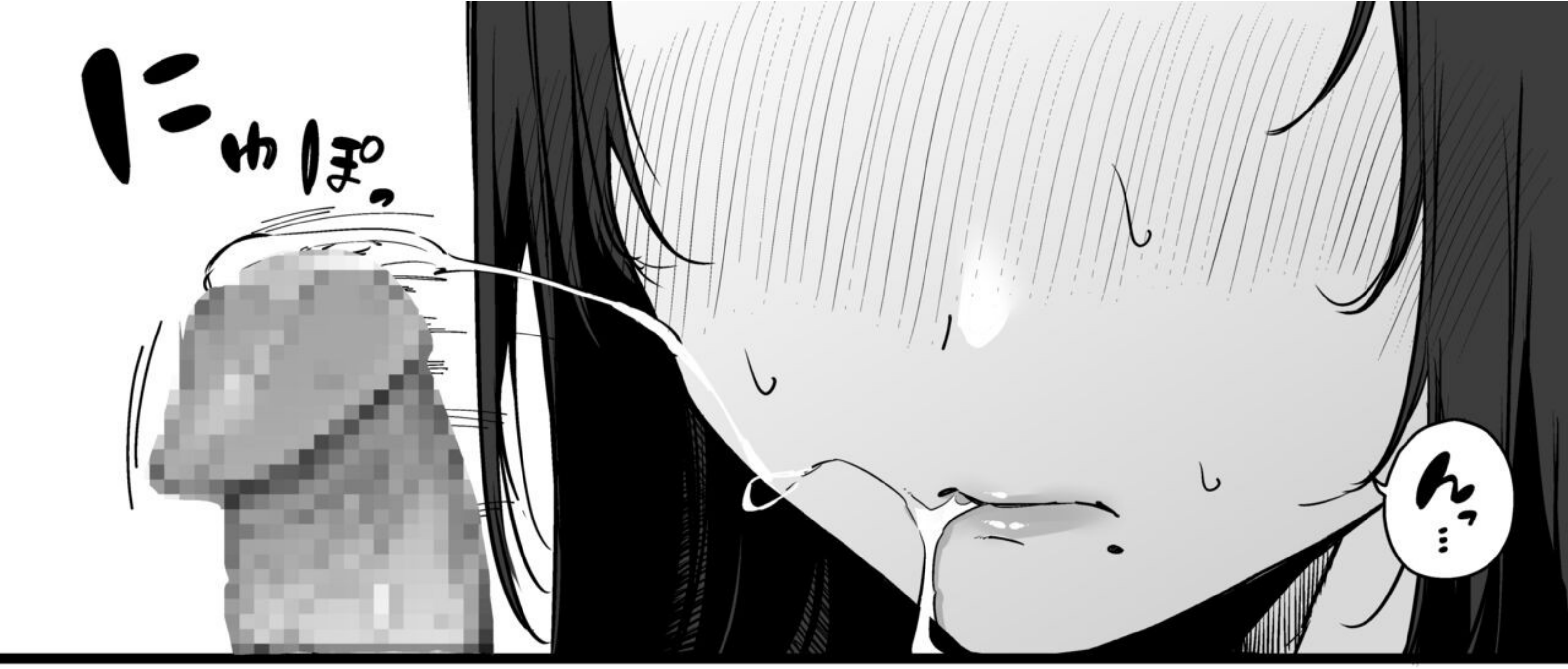
荒くなっちゃってごめんなさい…
もう、我慢できません…
はぁっ
はぁっ
はぁ
はぁっ
はぁっ
キュッ…
グイッ
わっちょっ…いきなり
いただきます♡
あぁぁぁぁッ
ぱくっ♡

わっ
ぢゅっ
ぢゅぶっ
あっ
ぢゅっ
あっ
んっ
ぬっこ♡
んっ
なんだこれっ…
芯から吸われてる
気持ち良すぎるっ
ぬっこ♡
んっ
ぬぢ
ぬっ
普段いつも
大人しい岬葉さんが
こんな下品な音立てて
俺のちんこを咥えてる…
フーッ
フッ
ビクッ
ビクッ
ふーーっ♡
ふーーっ♡
♡
ふーっ♡
ふーっ♡
れろっ
れろっ
こんなエロい
表情でっ…

んっ
ずっ
やばいっ
岬葉さんもう
出そうなんだけどっ
んっ
ずっ
ずっ
んっ
ずっ
んっ
ずっ
あぉっ
ぬぢっ
ぬぢっ
いいれすよ♡
我慢しないでいっぱい
口にください…
全部下さい…♡
ぬぢっ
ぬぢっ
ぬぢっ
ぬぢっ
はっ
でっ
でるっ

わ゛ーっ
あ゛あ゛あ゛っ
さきばさ゛っ
でる゛ッ♡
ん♡
ドビュ
ビュルルルルルッ
レロッ
レロッ
な、なんだこれッ
奥の底から吸い出されるッ
あ゛がッ
あ゛あ゛あ゛あ゛ッ

んんっ
んっ
ん♡
今までの射精で一番気持ちいいッ
息をするのが精一杯だ…
すごい…♡中田くんの射精全然終らない♡
一回の射精でこんなに…


にゅぽっ
んっ…

はー…っ
ぷはっ…♡
ご馳走様でした
はー…っ
はーっ
はー…っ
今までの精液の中で
一番若くて美味しかった…♡
はー…っ
はー…っ
はー…っ
な…なら
良かったよ…

あの…中田くん まだ元気そうだよね
え、ええっ？ てか急に近っ
…これ
わっ… あっちょっ
んっ… よいしょ

さっ…
岬葉さんッ
んしょっ…
むちっ
むちっ
中田くん…

男の人は視覚的に興奮すると、射精量もアップすると聞きました
私の身体でよければ…いっぱい見てください
岬葉さん…今まで気付かなかったけど身体つきエロすぎでしょっ
えっ…？そうなのかな
おちんちんパンパンだね

のしっ
うあっ ちょっ…
中田くん…
次はこっちに注いで欲しいな…
ムチッ
ムチッ
にゅっ…
ん…
にゅっ…
ドッ
ドッ
ドッ
ッ…

あっ…♥
ヌ
ぶじゅっ
ぶじゅるっ
ぶじゅっ…
プぢゅ
あ゛あ゛あ゛ッ
はいっ…
ガクッ
ガクッ
ガクッ
あっ…あぁあっ
なにこれ…ヒダが
チンコに絡んできてっ
ゾクゾクッ
ハァッ
少しでも動いたら
すぐに出るっ…
ハァッ
中田くん…
気持ちいいから
そのまま動いて
ぬぢっ…♥

まっ、まって
これ本当にやばい…っ

ハァッ

ハァッ

ハァッ

岬葉さんの膣内
気持ちよすぎて
もうっ……

ハァッ

ハァッ

だめ♡
まだ我慢して

しろん

はぁっ

はぁっ

えっ

いっぱい我慢した方が
射精の量も増えるからっ
限界まで我慢して…♡

ハァッ

ぬぢっ

ぬぢっ

ハァッ

うえっ…
で、でもっ

ハァッ

いっぱい我慢した方が気持ちいいから…っ

はっ

はっ

はっ

んっ♡

岬葉さんの舌が絡んできて…っ頭がぼーっとする…

フーッ

フーッ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

中田くんの精子っ全部吸収しちゃいたいっ♡

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

あっ

あっ

あっ

中田くんのちんぽ膣内でどんどん膨らんできてるの…

全部わかってますよ♡射精したくてっ堪らないんですね

コリッ

コリッ

ドクッ

ドクッ

あぁあッ

あっ岬葉さっ激しいって…我慢できないよっ

ゾクッ

ゾクッ

もうだめだっ射精の事しか考えられない無理むりムリっもう…

イグッ
射精るぅッ♥
ドクッ
ドクッ
ゾクッ♥
ゾクッ♥
おッ♥
ゾクッ
おお
くッああ
なんだこれッ
射精が止まらないいっ
ビクッ
おっ
ビクッ
ほっ♥

ガクッ
ガクッ
ガクッ
ハァッ
ハァッ
ビクッ
ハァッ
すごい…
まだ出てる♡
はー…
だめだ…
頭がぼーっとして
何も考えられない…
中田くん…
まだまだ射精
できそうだよね
え…？
岬葉さん
何言って…

それからは彼女のペースで
意識が朦朧とする中で
何度も射精を促された。

何度も…。
はぁっ
はぁっ
抜かずに連続で
3回も射精してる…
お腹たぷたぷ…♡
トプッ♡
トプッ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
6度目の射精…
はぁっ
スゴイね…中田くん
全然『ダメ』にならない…♡
普通の人なら壊れてるのに

それどころか
精液の量も、ちんぽの
硬さも…全然衰えない♡
あっ…♡私もザーメンもっと
吸いたくて子宮降りてくる♡
一番奥に当たってるの分かるっ
もうずっと
射精しっぱなしで
おかしくなるっ…

あはっ♡
イクッ
みちっ
みちっ
みちっ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
薄れゆく意識の中で
岬葉さんが本当に
『サキュバス』だったのだと
悟った。
僕は…取り返しのつかない
頼まれ事を引き受けて
しまったのかもしれない

翌日

昨日の記憶は途中から無く、気がついたら家で寝ていた。

すうううん

今後人生であんなに射精する事は無いだろうあぁ…朝から身体が重い

中田くん

昨日はありがとう…その、ご馳走様でした

あっ、岬葉さんっ…

いえいえ…

ねぇ…その、また来週までにいっぱい溜めておいて欲しいな…

……この先、僕の身体は無事なのだろうか…